別記３　変調方式のスロット割当て

変調方式及び内符号誤り訂正方式の符号化率に応じて下表に示すスロット数を最小単位として割り当てるものとする。

変調方式（符号化率）	スロット数の最小単位	有効スロット数	無効スロット数
二相位相変調方式（１／２）	4	1	3
四相位相変調方式（１／２）	2	1	1
四相位相変調方式（２／３）	3	2	1
四相位相変調方式（３／４）	4	3	1
四相位相変調方式（５／６）	6	5	1
四相位相変調方式（７／８）	8	7	1
トレリス符号化八相位相変調方式（２／３）	1	1	0

別表第四十九号　11.7GHzを超え12.2GHz以下の周波数の電波を使用する衛星基幹放送局を用いて行うデジタル放送及び広帯域伝送デジタル放送の誤り訂正方式（第53条第２項、第54条第２項関係）

１　ＴＳパケットの誤り訂正外符号は、短縮化リードソロモン（204，188）とする。短縮化リードソロモン（204，188）符号は、リードソロモン（255，239）符号において、入力データバイトの前に51バイトの「00ｈ」を付加し、符号化後に先頭51バイトを除去することによって生成する。ここでリードソロモン（255，239）符号の多項式は次のとおりとする。

符号化生成多項式：ｇ（ｘ）＝（ｘ＋λ^0）（ｘ＋λ^1）…（ｘ＋λ^{15}）、（λ＝02ｈ）

体生成多項式：ｐ（ｘ）＝$x^8+x^4+x^3+x^2+1$

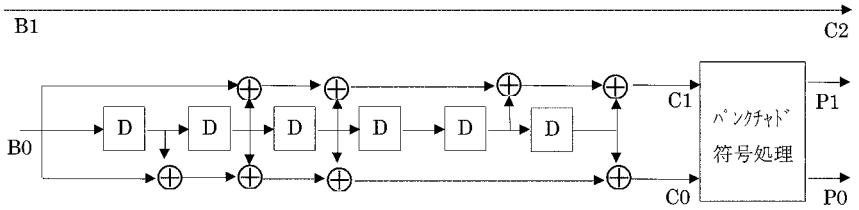
注　数値の後のｈは、その数値が16進数表記であることを示す。

２　ＴＭＣＣの誤り訂正外符号は、短縮化リードソロモン（64，48）とする。短縮化リードソロモン（64，48）符号は、リードソロモン（255，239）符号において、入力データバイトの前に191バイトの「00ｈ」を付加し、符号化後に先頭191バイトを除去することによって生成する。ここでリードソロモン（255，239）符号の多項式は次のとおりとする。

符号化生成多項式：ｇ（ｘ）＝（ｘ＋λ^0）（ｘ＋λ^1）…（ｘ＋λ^{15}）、（λ＝02ｈ）

体生成多項式：ｐ（ｘ）＝$x^8+x^4+x^3+x^2+1$

３　誤り訂正内符号は、搬送波の変調が八相位相変調の場合は符号化率２／３のトレリス符号化方式とし、搬送波の変調が四相位相変調の場合は畳込み符号方式及びパンクチャド符号化方式の組み合わせによるものとし、搬送波の変調が二相位相変調の場合は符号化率１／２の畳込み符号方式とする。



注１　Ⓓは１ビット遅延素子を表す。

２　⊕は、排他的論理和の演算素子を表す。

３　伝送主信号又は電力拡散されたＴＭＣＣ信号は、八相位相変調の場合、最上位ビットから順にＢ１、Ｂ０に割り当てられ、四相位相変調及び二相位相変調の場合は、最上位ビットから順にＢ０に割当てられる。二相位相変調については内符号化後にＣ０、Ｃ１の順に送出する。

４　パンクチャド符号の詳細は、次表のとおりとする。

パンクチャド符号詳細

（入力信号列Ｃ１，Ｃ０がパンクチャドパターンによりＰ１，Ｐ０になる）

符号化率＼入力		Ｘ１	Ｘ２	Ｘ３	Ｘ４	Ｘ５	Ｘ６	Ｘ７	Ｘ８	Ｘ９
	Ｃ１	Ｙ１	Ｙ２	Ｙ３	Ｙ４	Ｙ５	Ｙ６	Ｙ７	Ｙ８	Ｙ９
１／２	パンクチャドパターン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Ｃ０	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Ｐ１	Ｘ１	Ｘ２	Ｘ３	Ｘ４	Ｘ５	Ｘ６	Ｘ７	Ｘ８	Ｘ９
	Ｐ０	Ｙ１	Ｙ２	Ｙ３	Ｙ４	Ｙ５	Ｙ６	Ｙ７	Ｙ８	Ｙ９
２／３	パンクチャドパターン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Ｃ０	○	×	○	×	○	×	○	×	○
	Ｐ１	Ｘ１	Ｙ３	Ｘ４		Ｘ５	Ｙ７	Ｘ８		Ｘ９
	Ｐ０	Ｙ１	Ｘ２	Ｘ３		Ｙ５	Ｘ６	Ｘ７		Ｙ９
３／４	パンクチャドパターン	○	○	×	○	○	×	○	○	×
	Ｃ０	○	×	○	○	×	○	○	×	○
	Ｐ１	Ｘ１	Ｙ３		Ｘ４	Ｙ６		Ｘ７	Ｙ９	
	Ｐ０	Ｙ１	Ｘ２		Ｙ４	Ｘ５		Ｙ７	Ｘ８	
５／６	パンクチャドパターン	○	○	×	○	×	○	○	×	○
	Ｃ０	○	×	○	×	○	○	×	○	×
	Ｐ１	Ｘ１	Ｙ３	Ｙ５			Ｘ６	Ｙ８	Ｙ10	
	Ｐ０	Ｙ１	Ｘ２	Ｘ４			Ｙ６	Ｘ７	Ｘ９	
７／８	パンクチャドパターン	○	○	○	○	×	○	×	○	○
	Ｃ０	○	×	×	×	○	×	○	○	×
	Ｐ１	Ｘ１	Ｘ３	Ｙ５	Ｙ７				Ｘ８	Ｙ10
	Ｐ０	Ｙ１	Ｘ２	Ｘ４	Ｘ６				Ｙ８	Ｘ９

○：伝送ビット　×：非伝送ビット

５　パンクチャド符号化の位相の関係はパンクチャドパターンの先頭位相がスロット先頭と一致するものとする。